患者氏名　@PATIENTNAME　殿

今回の手術を行うために、以下の麻酔方法を予定しています。

1. **全身麻酔**

* 全身麻酔は点滴から入れる麻酔薬（静脈麻酔）またはガスの麻酔薬（吸入麻酔薬）で

　　　入眠する麻酔です。麻酔中は自分で呼吸する力がなくなってしまうので、空気の通り道を

　　　確保するための管をのどや気管まで入れて、人工呼吸を行います。特殊な場合を除き

　　　管は眠った後で通します。

* 管を入れた影響で手術後にのどが痛くなったり声がかすれることがあります。

　　　またごくわずかですが、歯が傷ついたり折れてしまう可能性があります。

**２．硬膜外麻酔**

* 背骨と背骨の間から脊髄を包んでいる硬膜の外側（硬膜外腔）まで、直径約１ミリ程度の

　　　細くてやわらかい管を通します。この管から麻酔薬を注入すると痛みを伝える神経が

　　　遮断され、術後の痛みが随分と楽になります。

* 偶発的に硬膜を穿刺する確立が0.5%あり、そのうち75%で鎮静薬無効の頭痛が発生しますが、

1～2週で自然軽快します。

* 脊髄の近くまで針を進めるので神経を傷つける可能性がわずかにあり、0.1～0.01%の

　　　確率で永続的な（治らない）神経障害が発生する、といわれています。また非常に

　　　低い確率（0.001%）で、硬膜外腔に感染を起こしたり血のかたまり（血腫）ができて脊髄障害が

起きる可能性があります。

**３．脊椎麻酔（脊髄くも膜下麻酔）**

* 背骨と背骨の間から細い針を進め、脊髄を包んでいる鞘の中に局所麻酔薬を注入し、

　　　痛みを伝える神経を遮断します。麻酔が効いてくると下半身を中心にしびれるような

　　　温かいような感覚が広がり、足に力が入らなくなります。麻酔の効果は約3時間続き、

　　　足のしびれや動かしにくさは通常5時間程度で回復してきます。

* 0.5%%程度の確率で頭痛が発生します。また、0.002%の割合で下肢の感覚異常や膀胱直腸

　　　障害が長期間続く場合があります。

**４．伝達麻酔（神経ブロック）**

* 腕神経叢（そう）ブロックや大腿神経ブロックなどがあります。腕や脚の神経の近くに針をすすめ、そこに局所麻酔薬を注入し、痛みを伝える神経を遮断します。麻酔が効いてくると、腕や脚の全体または一部が痛みを感じないようになります。手術後しばらく（半日程度）腕や脚がしびれたり、動かしにくくなる場合がありますが、時間が経てばもとに戻ります。
* ほとんどの場合、全身麻酔で眠ってから行いますので痛くありません。超音波診断装置で神経を見ながら針を進めるので安全ですが、稀に神経を傷つける場合があります。

**【麻酔による合併症の可能性と危険性について】**

* 近年の進歩により麻酔は非常に安全になっていますが、残念ながら100%安全とは言い

　　　切れません。最近の調査によると麻酔管理が原因での死亡率は1/10万人と報告されて

　　　います。ただし緊急手術の場合、予定手術の2倍以上危険率が高いといわれています。

* 麻酔の危険性は個々の状態で異なるものであり、持っている疾患により麻酔の危険率が高く

　　　なる場合があります。危険率に影響する主な疾患には高血圧、狭心症、糖尿病、喘息、

　　　腎不全、脳梗塞などがあり、病的肥満、喫煙、多量のアルコール摂取も麻酔の危険性を

　　　高めます。

* 悪性高熱症について

　麻酔薬が誘引となって40度以上の高熱、筋肉の硬直、不整脈、多臓器不全など多彩な症状を

　起こす麻酔特有の合併症です。全身麻酔を受けると1/6万人の確率で起こるとされており、

　治療は非常に難しく死亡率は約15％と報告されています。遺伝的要因が関係する合併症です

　ので、もし血縁の方で麻酔中に異常反応を起こした方がいらした場合はスタッフにお知らせ下さい。

* 手術前後の絶飲・絶食の指示は正しく守ってください。麻酔中に胃の中に残ったものを嘔吐して

　　　吐物が肺へ流れると、非常に重い肺炎を起こして生命に危険が及ぶ可能性があります。

　　　もし絶飲絶食の指示を守れなかった場合は必ずスタッフにお知らせ下さい。

**【その他特記事項】**

(１) 上記医療行為について、その必要性と内容、起こりうる合併症について説明しました。

2020年9月3日　　説明担当医師署名　　@ACTIVEUSERNAME

（２） 私は上記の説明を受け、その処置を受けることを納得しましたので、実施に同意します。

　　　また　実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、前記以外の医療行為についても

適宜行われることに同意します。

２０　　　年　　　　月　　　　日

患者署名

同意者署名

同意者と患者との関係（　　　　　　　　　　　）